

(様式)

1/2

## 助成事業完了報告書

宛先：日本財団御中

報告日付：2010年4月14日  
事業ID：2008696179  
事業名：手話教育を行う学校教育支援事業  
団体名：学校法人 明晴学園  
代表者名：理事長 米内山明宏  
TEL：03-6380-6775  
FAX：03-6380-6751  
事業完了日：2010年3月31日

事業費総額	145,719,000	円	(収支計算書に記載する決算額)
自己負担額	140,719,000	円	
助成金額	5,000,000	円	(千円未満は切り捨て)

事業内容：

2008年4月に設立された明晴学園には幼稚部と小学部しかなく、中学部が未設置であった。2010年3月に小学部の初めての卒業生が出るため、彼らが継続的に日本手話で義務教育を受けられる環境を整えるべく明晴学園中学部設置を目指した。

2010年4月の設置を目標にしたため、東京都への設置申請時期は2010年6月に設定した。

東京都に申請をするにあたっては「中学部を設置後、3年間運営するのに必要な資金」を保有している必要があり、書類や教育課程の作成と並行して、資金を確保するための募金活動や助成申請などを2008年後半から本格的に開始した。

3年間運営するのに必要な資金を試算し、その額から自己資産を差し引いた3,000万円を募金ならびに助成金によって6月までに確保することを目標に掲げ、明晴学園の保護者や教職員らが一丸となって目標達成のために活動を続けた。

主な資金集めの活動としては、企業・財団に出向いての支援のお願い、サポーターへの手紙送付、各種イベントに参加してのPR・募金、研究会等でのプレゼンテーション、企業とタイアップしてのチャリティライド(自転車での資金集め)による募金、フリーマーケットへの出店などが挙げられる。明晴学園に通う児童も各種イベントで自ら中学部設立の必要性を訴えるなど、募金活動に積極的に参加した。

---

事業目標の達成状況：

上記の活動の結果、6月までに目標額である3,000万に到達し、申請が受理された。  
2010年3月に東京都から中学部設置が正式に認可され、4月1日付で中学部設置に至った。

■設置までの流れ

2008年後半	本格的な募金活動、助成申請開始
2009年 6月	貴財団からの助成決定 目標額3,000万円に到達
	東京都に中学部設置の申請
9月	東京都私立学校審議会による審査 同審議会による「認可を適当と認める」という内容の答申
2010年 3月	東京都による中学部設置認可
4月	明晴学園中学部設置 第1回入学式

4月9日に第1回中学部入学式が執り行われ、7名の新生を迎えて明晴学園中学部がスタートした。

明晴学園に中学部が設置されたことにより、日本において幼稚部から中学部まで一貫して日本手話で教育を受けられる環境が整ったことになる。ろうの子どもが義務教育期間である小・中9年間を「日本手話」という言語環境の中で過ごすことは、聞こえる子と同等に教育を受ける権利を享受できることを意味し、本人や保護者が希望すれば日本手話による教育を選択できる環境が整備されたことの意義はとりわけ大きい。

---

事業成果物：

1. 学校法人明晴学園による明晴学園中学部の設置

以上